

「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト 環境学習授業実施報告書

実施日時	2014年1月14日(火) 14:30~15:05
実施場所	高津小学校 ビオトープ
実施対象	自然科学委員会児童(23名)
実施内容	ビオトープの生きもの観察

1 事前準備

・観察用のビオトープの生きもの事前採集。

2 実施内容

- (1) 観察用の生きものを事前にビオトープから採取。
- (2) ビオトープの経緯を簡単に説明。
- (3) 生きもの採取。
- (4) 生きもの観察と質疑応答。

採取した生きものは授業終了後、池へと戻した。

見つけた生物 池のビオトープは確認できた生きもの、蝶のビオトープは植えた植物等を記入

●ビオトープ

・メダカ、モツゴ、シオカラトンボ、コカゲロウの幼虫、ユスリカの幼虫(アカムシ)、ハナアブの幼虫、カイミジンコ

問題点・気付いた事・その他

・ビオトープの底に大量の泥や落ち葉が堆積しており、そろそろかいぼりを検討が必要。来年度の学習と組み合わせでの実施を検討いただくよう、学校に提案をした。

・魚の数に比べると他の生きものが圧倒的に少ないが原因は不明。

・ビオトープの隣の深い池では、コイの栄養状態が極端に悪かったため、学校の用務員に餌やり対応を勧めた。

・ひょうたん池の上手の旧水路をビオトープ化し、2012年2月16日にホトケドジョウの放流をした区画の水がなくなっていた。用務員に確認したところ、生きものが確認できずハナアブの幼虫が大発生したので水を抜いたとのこと。放流したホトケドジョウが定着しなかった可能性もあるが、引継ぎが不十分で見落とされて、水を一緒に流されてしまった可能性も考えられる。わずかに水たまりが残っており、大量のカイミジンコとハナアブの幼虫が観察できた。



ビオトープの解説



生きもの採集



生きものの解説



シオカラトンボ



コカゲロウの幼虫